

# 組合活動の 創造×想像

## レポートの紹介

組合活動から組合員は何を学ぶ？  
～教育の場としての組合活動を考える～

Point

1

## イベント内容の要約

組織が何を「教育」するかということと、組織の「在り方」は表裏一体です。近年の組合活動は、多角化と高度化が進み、組織としての「在り方」が問われるようになってきています。それは同時に労働組合として「何を」教育するのということも問われています。

そこで本企画では、「教育」をキーワードに、従来の組合活動における教育的効果を4つの視点（「社会化」「序列化」「個の成長支援」「エンパワー」）から整理しました。そして、自分たちの理想とする状態に近づくために、現在の教育活動がどのようなものになっているのか、それぞれの組合・企業の活動における教育的効果の不足点や過剰点などについて情報交換しました。最後に、労働組合の活動は、自分たち自身で自分たちの行く末を決めることができる貴重な場であること、そして、教育活動はその行く末に近づくための、とても大事なテーマであり、教育活動を自分たちで進めて行く上でのポイントを理解し、そして意識して活動をしていくことの大事さを確認しました。

Point

2

## 今回のイベント企画の背景や目的は？

雇用の流動化が進み、格差が拡大し、セーフティネット構築の議論もままならない.....労働者は自己防衛していくしかない.....。そんな中ますます教育の必要性が叫ばれています。しかし労働組合は、日々の組合業務に追われている状況で、自分たちの教育活動の教育的効果も振り返る機会を確保するのが難しいのが現状ではないでしょうか。今回の企画を自分たち自身の活動の問題点について振り返るきっかけにさせていただければと思い企画しました。

Point

3

## 今回のイベントで参加者の みなさんが得たことは？ (参加者の反応や、意見、創発など)

「これまでの組合の教育活動を見直すきっかけになった」などポジティブな感想と「難しかった、わからなかった」とネガティブな感想があり、参加者の反応は二極化した結果となりました。

### 【ポジティブな意見】

- ・何を目的として行うかという点や組合員が何を求めているかという点、そして結果的にどうなって欲しいかという点をもう一度考え直すきっかけになった
- ・グループワークの話しではレク活動も内容や位置づけをしっかりとする事でいずれかに分類出来る事に繋がった
- ・今までは単純に組合活動へ目を向けるきっかけづくりという意識が強かったので、レク活動も教育活動の一環として再度内容を考えていきたいと思った
- ・組合として果たす教育機能のイメージや現状足りていないこと・注力していくべきこと、それらを執行部や会社をどう巻き込んで議論していけばよいかのイメージを得ることができた

### 【ネガティブな意見】

- ・思っていたより学問的な理論の話が多かったので、具体的な事例紹介などももう少しもあれば良かったように思います
- ・哲学的で少し難しく感じてしまいました

Point

4

## 今後の労働組合の役割として 強化すべき活動内容は？ また新たに浮き彫りになった課題は？

組合活動に組合員への教育的効果があることを認識したうえで、「組合員に何が大切か」を常に考え続けることが大切だと感じました。

ときにはこれまでの活動をガラリと変える必要があるかもしれません。そんなときでも「これまで」ではなく「これから」に着目し、自分たちの力で変化適応していける労働組合が今必要なのではないでしょうか。